

## 「国有林材の安定供給システム販売(素材)」の結果公表

平成30年9月27日に公告しました「国有林材の安定供給システム販売(素材)」について、「申請書」及び「企画提案書」等を審査した結果、下記のとおり決定しましたので公表します。

### 記

#### 1 システム販売の目的

一定の要件を満たす工場等と近畿中国森林管理局長が国有林材の販売に関する相互協定を締結し、その協定に基づき計画的な販売を実施することにより、国有林材の需要、販路の確保・拡大を図り、併せて地域における中核的な素材流通・製材の担い手の育成、流域管理システムの推進等に資することを目的とし、山元において販売するものです。

また、民有林材と国有林材をあわせた国産材の自給率アップに向けて、原木市場でB材・C材といわれる一般材及び低質材の利用・販路の確保等への取組を支援しています。

#### 2 応募状況及び審査内容

##### (1) 応募状況

番号	関係森林管理署等	公募内容		応募件数	備考
		樹種	数量(m)		
56	岡山	スギ・ヒノキ	2,100	2	

##### (2) 審査内容

企画提案書等の内容が、①システム販売の対象となる需要者の要件を満たしているか(必須項目)、②企画提案する取組の7項目に取組内容が具体的に記載されており数量的指標が記載されているか、③山元購入単価等の提案内容について、審査しました。

#### 3 審査結果

番号	協定締結者	企画提案の概要	
		企画提案する取組	山元購入希望価格 スギ・ヒノキ(円/m <sup>3</sup> )
56	兵庫県宍粟市一宮町安積字丸山217番地の20 協同組合 兵庫木材センター 代表理事 八木 数也	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同一敷地内に製材機・高速加工機等の施設を効率的に配置することと、製材の大規模化を行い、かつ、施設の経営を統合することにより、木材市場と製材所、製材所と製品市場(問屋)間の輸送コスト及び手数料の縮減を達成している。そして、生産された原木は、買取から製品製造・加工・販売までを一貫して行い、さらに流通コストの縮減を図っている。</li> <li>・増加する大径木丸太や長尺材を利用するために、最長6m・最大径63cmの原木を製材できる最新型ツインバンドソー等の設備により、取引先の求める多種多様なニーズに対応して製材をすることにより原木の付加価値を高めている。</li> <li>・乾燥機の熱源に木くず焚きボイラーを利用することにより、樹皮・木くずを木質燃料として活用し、化石燃料の不使用により年間約2億円以上の燃料代の削減とCO2の削減を行い、森林資源の有効活用をしている。</li> <li>・製材加工をする前に自動でミリ単位による径級測定と3Dによる形状測定をして、原木に対して最大限の有効な木取りを選択することにより、製品の効率的な生産を行っている。</li> <li>・地元小学生や県内の中・高校生、森林大学校による工場見学・体験などを通じて、未来を担う子供や若い人たちの支援を行っている。</li> </ul>	<p>平均単価</p> <p>スギ 6,827円</p> <p>ヒノキ 9,955円</p>